

報告事項才

鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業 in 県米について

鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業 in 県米について、別紙のとおり報告します。

平成28年9月6日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業 in 県米について

特別支援教育課

特別支援学校の在校生及び卒業生、地域住民等が、障がいのあるなしに関わらずスポーツの楽しさを共に味わいながら、体力の向上や豊かな生活の実現、共生社会の実現をめざすため、スポーツ庁事業「平成28年度特別支援学校等を活用した障害児・者のスポーツ活動実践事業」を受託し、「鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業」を実施しています。

同事業では、県立倉吉養護学校、県立皆生養護学校、県立米子養護学校の学校体育施設を拠点として、地域のスポーツ団体が誰もが楽しめるスポーツイベントを主催する学校拠点型と、鳥取聾学校、琴の浦高等特別支援学校の生徒が地域のスポーツ活動参加を支援する地域参加型の2つのモデル事業を実施しています。

今回は学校拠点型のうち、県立米子養護学校を拠点とした第1回目の取組を次のとおり開催しました。

- 1 主催 フレンズけんべいスポーツクラブ
代表：佐藤 直也 氏
- 2 日時 平成28年8月21日（日）午前10時から11時30分まで
- 3 会場 県立米子養護学校 体育館
- 4 参加者 県立米子養護学校児童生徒 9名、児童生徒の家族 10名
県立米子養護学校校長・教職員 3名、スタッフ 2名 計24名
- 5 内容 風船バレーボール
講師：鳥取県ソフトバレーボール連盟 理事長 野上 清 氏

6 当日の様子

○始まる前から風船に触って遊ぶ子どもが多く、ゆっくりとした風船の動きに合わせて落ちないように手のひらに当てたり、スパイクのようにたたいたりして楽しんでいました。

○講師がわかりやすく指導するだけでなく、子どもたちの様子に合わせてルールを変更したり、活動を調整したりしており、参加者は最初から最後まで興味を持続させて風船バレーを楽しんでいました。



【感想】

- サーブをがんばりました。（在校生）
- （ネットの向こうに）返すのが難しかったけど、楽しかったです。（在校生）
- 子どもそれぞれに合わせてルールを自由に変えてもらってよかった。みんなでフォローし合えて楽しかった。（保護者）
- 動きがゆっくりなので、やりすかったです。楽しかったです。（保護者）